



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 財務本部長 (氏名) 吉川 透 TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,074	4.9	362	72.0	597	60.0	351	68.7
2019年3月期第2四半期	41,077	1.1	1,292	1.7	1,495	4.9	1,122	2.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 323百万円 (72.5%) 2019年3月期第2四半期 1,173百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.06	
2019年3月期第2四半期	121.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	44,961	27,031	60.1	3,059.21
2019年3月期	44,308	28,065	63.3	3,032.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,031百万円 2019年3月期 28,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		35.00	70.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,451	8.8	1,036	60.5	1,524	50.2	904	58.5	100.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	9,255,926 株	2019年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	419,679 株	2019年3月期	222 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,992,994 株	2019年3月期2Q	9,255,704 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、個人消費は、緩やかに回復しているものの、業種業態でバラツキがみられ、10月に実施されました消費増税が今後の消費拡大に影響を及ぼす懸念など、先行きが不透明な状況となっております。

食品小売業界におきましては、人口減少や消費者マインドが低迷する中、業種業態を超えた競争の激化、法改正や労働環境の変化による人件費の上昇や物流コストの上昇等、各経費が上昇し、厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような環境の中、当社グループは、第53期をスタート期とする第二次中期経営計画(第53期～第55期)を策定し、「地域に根ざした一番店を創る」を中期経営方針とし、「お客様に満足していただける店づくり」「自立して考え行動できる従業員の育成」「バックシステムを活用した生産性の向上と業務改革」を重点施策に掲げ、今後の成長拡大に向け、取組んでまいりました。

お客様に満足していただける店づくりへの取組みとして、地元商品の取扱いを増やすとともに、販売促進策として「アルビスの日」等を企画し、ワンランク上の商品や当社が薦める商品の販売を強化しました。

店舗の出店につきましては、2019年4月、北陸3県以外への初出店として岐阜県美濃加茂市に「美濃加茂店」を出店しました。同店は、地域の食文化を取り入れた品揃えを行い、北陸の鮮魚を使用した魚屋の寿司や魚惣菜、ます寿司やお菓子等の北陸の名産品を数多く取り揃え、好評を頂いております。

また、2019年4月より㈱オレンジマートがアルビスグループとなり、新たに4店舗増加しました。同社は、当社が出店していない地域(富山市南部)を地盤としており、当社グループのシェア拡大に寄与しております。

今後の出店につきましては、2019年10月9日、石川県金沢市に「笠舞店(旧パレット店)」を代替オープン、2019年10月25日に自社開発の商業施設イータウン白山のキーテナントとして「北安田店」をオープンしました。

自立して考え行動できる従業員の育成への取組みとして、店長の教育プログラムを計画・実行しているほか、従業員の健康意識を高めるため、健康診断時にカウンセリングを受講するなど、従業員教育の強化に取り組んでおります。

生産性の向上と業務改革の取組みとして、2019年4月に「アルビスプロセスセンター」を本格稼働しました。同センターは、最新機器を導入して生産力を高め、店舗の作業量を軽減し、品質・美味しさの向上と品揃えの充実を図ることを目的として、商品調達から販売に至る全体コストの最適化による生産性の向上や、安全管理レベルの向上により安心・安全な商品製造に取り組んでおります。当第2四半期連結会計期間末現在、予定店舗への供給を計画通りに実施しております。

以上の結果、営業収益面におきましては、消費者マインドの低迷や7月と8月中旬以降の天候不順の影響等により既存店の売上高が伸び悩んだものの、前期に出店した姫野店・丸の内店が期初から寄与、当期に出店した美濃加茂店及び㈱オレンジマート4店舗増加により売上高は増加し、営業収益は43,074百万円(前年同期比4.9%増)となりました。また、利益面におきましては、売上総利益が既存店の売上高減少とプロセスセンターの製造原価増加の影響で増加幅が小さかったこと、販売費及び一般管理費が、期初より、前期新店、当期新店及び㈱オレンジマートの影響で増加したことにより、営業利益362百万円(前年同期比72.0%減)、経常利益597百万円(前年同期比60.0%減)となりました。さらに、保有する銀行株式の投資有価証券評価損48百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益351百万円(前年同期比68.7%減)となりました。

今後につきましては、10月からの消費増税及びそれに伴うポイント還元制度の影響が不透明な状況であるものの、計画通りの売上高を維持するため販売促進強化に取り組んでまいります。また、プロセスセンターにおいて、品質の安定化を最優先に取り組むとともに生産性を向上させ、販売体制を整えて生産した商品の販売強化に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ652百万円増加し、44,961百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額1,613百万円、売掛金の減少額112百万円、流動資産その他の増加額164百万円、建物及び構築物(純額)の増加額3,907百万円、土地の増加額142百万円、有形固定資産その他(純額)の減少額2,332百万円、のれんの増加額225百万円、敷金及び保証金の減少額143百万円、投資その他の資産その他の投資の増加額201百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,685百万円増加し、17,929百万円となりました。

この主な要因は買掛金の減少額220百万円、短期借入金の増加額1,600百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額89百万円、未払法人税等の減少額118百万円、流動負債その他の増加額81百万円、長期借入金の増加額362百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,033百万円減少し、27,031百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額27百万円、自己株式の増加額1,032百万円、その他有価証券評価差額金の減少額28百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ3,047百万円減少し、4,713百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ702百万円減少し、742百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの内訳は、税金等調整前四半期純利益が549百万円、減価償却費1,018百万円、売上債権の減少額137百万円、未払消費税等の増加額294百万円等による資金の増加と、支払債務の減少額890百万円、法人税等の支払額374百万円等による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1,917百万円減少し、1,610百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの内訳は、敷金及び保証金の回収による収入236百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入166百万円等による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出1,974百万円等による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ898百万円減少し、745百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの内訳は、短期借入金の純増減額1,600百万円、長期借入れによる収入1,400百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出2,260百万円、自己株式の取得による支出1,000百万円、配当金による支出額324百万円、リース債務の返済による支出160百万円による資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績につきましては、2019年10月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,326,980	4,713,350
売掛金	1,417,593	1,305,139
商品	1,736,820	1,834,916
原材料及び貯蔵品	73,098	132,076
その他	807,195	972,104
貸倒引当金	△2,557	△2,212
流動資産合計	10,359,131	8,955,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,045,250	14,952,292
土地	11,103,456	11,245,699
その他(純額)	5,952,496	3,620,111
有形固定資産合計	28,101,203	29,818,102
無形固定資産		
のれん	—	225,547
その他	921,280	973,092
無形固定資産合計	921,280	1,198,639
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,668,159	3,524,808
その他	1,423,912	1,624,941
貸倒引当金	△165,133	△160,644
投資その他の資産合計	4,926,938	4,989,105
固定資産合計	33,949,422	36,005,848
資産合計	44,308,554	44,961,224
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,884,706	4,664,240
短期借入金	—	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,260,124	2,170,410
未払法人税等	445,947	327,114
賞与引当金	497,869	477,651
その他	3,158,301	3,239,496
流動負債合計	11,246,949	12,478,912
固定負債		
長期借入金	3,255,850	3,617,917
受入敷金保証金	585,820	637,789
退職給付に係る負債	—	28,701
資産除去債務	587,691	613,716
その他	567,238	552,270
固定負債合計	4,996,600	5,450,394
負債合計	16,243,550	17,929,307

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908,337	4,908,337
資本剰余金	5,633,238	5,633,238
利益剰余金	17,477,418	17,504,761
自己株式	△393	△1,032,627
株主資本合計	28,018,600	27,013,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,402	18,206
その他の包括利益累計額合計	46,402	18,206
純資産合計	28,065,003	27,031,917
負債純資産合計	44,308,554	44,961,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	40,543,665	42,548,027
売上原価	28,540,369	30,443,325
売上総利益	12,003,296	12,104,702
不動産賃貸収入	533,587	526,264
営業総利益	12,536,884	12,630,966
販売費及び一般管理費	11,244,828	12,268,954
営業利益	1,292,055	362,012
営業外収益		
受取利息	8,716	8,184
受取配当金	13,753	14,642
受取手数料	20,636	22,120
受取販売奨励金	62,491	64,640
その他	140,462	180,627
営業外収益合計	246,058	290,213
営業外費用		
支払利息	28,957	24,892
支払負担金	—	13,000
その他	13,602	16,354
営業外費用合計	42,559	54,247
経常利益	1,495,555	597,979
特別損失		
固定資産売却損	2,816	—
投資有価証券評価損	—	48,952
訴訟関連損失	23,285	—
特別損失合計	26,101	48,952
税金等調整前四半期純利益	1,469,453	549,026
法人税、住民税及び事業税	291,366	254,683
法人税等調整額	55,189	△56,949
法人税等合計	346,555	197,733
四半期純利益	1,122,897	351,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122,897	351,293

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,122,897	351,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,777	△28,196
その他の包括利益合計	50,777	△28,196
四半期包括利益	1,173,674	323,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,173,674	323,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,469,453	549,026
減価償却費	733,653	1,018,758
のれん償却額	16,989	25,060
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,413	△5,134
賞与引当金の増減額(△は減少)	△71,871	△29,917
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,103	△15,720
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△6,298
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△20,857	△24,329
受取利息及び受取配当金	△22,469	△22,826
支払利息	28,957	24,892
投資有価証券評価損益(△は益)	—	48,952
固定資産除売却損益(△は益)	2,816	—
訴訟関連損失	23,285	—
売上債権の増減額(△は増加)	△113,440	137,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,017	△37,978
支払債務の増減額(△は減少)	△71,202	△890,482
未払消費税等の増減額(△は減少)	△160,045	294,139
その他	315,132	45,630
小計	1,970,867	1,111,450
利息及び配当金の受取額	13,852	29,962
利息の支払額	△26,389	△25,252
訴訟関連損失の支払額	△23,285	—
法人税等の支払額	△490,157	△374,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,444,887	742,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,481,004	△1,974,792
有形固定資産の売却による収入	174,564	—
無形固定資産の取得による支出	△22,813	△72,092
投資有価証券の売却による収入	23,625	—
敷金及び保証金の差入による支出	△269,765	△7,165
敷金及び保証金の回収による収入	125,618	236,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	166,042
その他	△78,184	41,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,527,960	△1,610,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,600,000
長期借入れによる収入	—	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,212,905	△2,260,346
自己株式の取得による支出	—	△1,000,118
配当金の支払額	△323,458	△324,401
リース債務の返済による支出	△107,884	△160,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,644,247	△745,613
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,727,321	△1,613,629
現金及び現金同等物の期首残高	11,487,697	6,326,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,760,376	4,713,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を999,925千円取得しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は、子会社(株)オレンジマートが保有する親会社株式と合わせて1,032,627千円となりました。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、(株)オレンジマートの株式を取得し、100%子会社としたため、連結の範囲に含めております。